

新田次郎原作『劔岳〈点の記〉』
撮影現場からの報告
本格的クラシックイン

9月12日に、映画『劔岳〈点の記〉』は、本格的なクラシックインを迎えた。

この日は、富山県の富山地方鉄道立山線・上滝線（不二越・上滝線）・岩崎寺駅にて撮影が行われた。この駅舎を明治40年ごろの富山駅にみたくて、改装し、地元のエキストラ80名を配して行われた。

このシーンは、原作にもある柴崎芳太郎と宇治長次郎が出会うシーン。朝から準備をして撮影終了は午後6時過ぎまで行われた。



写真左から柴崎芳太郎役の浅野忠信、木村大作監督、宇治長次郎役の香川照之の各氏

これからしばらく山での撮影に入る柴崎役の浅野忠信は、「覚悟してきました。準備は特に何も行いませんでした。これまで山よりも海が好きだったんですが、山の良さも知っていきたい」。宇治役の香川照之は、「映画の原点に帰る気持ちです。西田敏行さんに“金かける映画はいっぱいあるが、命かけられる映画は少ない。”と言われました。その通りだと思います。がんばります」と語っていた。

「劔岳 点の記」の今年の俳優を交えた撮影は、9月12日から10月下旬まで。来年は3月下旬に撮影が再開され、8月まで行われる。完成は、2008年末、公開は2009年。